

週刊

鋼構造ジャーナル

2025

2/10 NO. 2226

週刊(毎週月曜日発行) / 購読料・1カ年52,500円、6カ月28,500円(税・送料込み) / 昭和55年9月26日第三種郵便物認可 / 発行所・株式会社 鋼構造出版 / 発行人・田中貴士 編集人・大熊登 / 本社・東京都中央区日本橋茅場町2-2-2 三恵ビル5階 〒103-0025 電話 東京03(5642)7011(代表) F A X 03(5642)7077 / 大阪支社・大阪市西区西本町1-14-3 本町コスモビル 〒550-0005 電話06(6536)2601(代表) F A X 06(6536)7603 / 札幌支局・札幌市白石区北郷4条3丁目2-21 〒003-0834 電話011(879)7666 F A X 011(873)3636 / 振込銀行口座・みずほ銀行京橋支店024-1044873 / 郵便振替口座 東京00130-9-13713

おもな記事

- 前年比4.1%減の375万ト / 24府県別鉄骨需要量 (2面)
- 推定鉄骨需要量は約28万ト / 国土交通省12月着工統計 (5面)
- 特定技能受入の協議会加入 / 全国で153社167事業所に (6面)
- 全青会・中部BCに助成金 / 全構協・中部支部…… (8面)
- 非破壊検査会社File② / アクトエーションハート(千葉) (11面)
- 70人集め賀詞交歓会 / 茨城県鐵構工協組…… (13面)
- 地区別鉄骨景況 / 全国各地の動向調査…… (14~20面)
- 全構協執行部と懇談会 / 全構協・中部支部…… (30面)
- 鳥取で支部例会を開催 / 全構協・中国支部…… (31面)
- 共済推進会議をウェブ開催 / 全構協・九州支部…… (32面)

36ページ

全国鉄骨景況天気図



極めて厳しい需要環境が続く

大型物件は`端境期、に推移

今年後半からの回復に期待

国土交通省の建築着工統計調査から算定した2024年の推定鉄骨需要量は前年比4.1%減の375万3616トとなった。暦年ベースでの375万トという数値は1966年実績(267万ト)以来、58年ぶりの記録的な低水準となる。しかも、2年連続の400万ト割れは、過去に例がなく、需要環境としては極めて厳しい状況が続いていることになる。「特に昨秋以降、仕事量の減少が顕著で、業界全体に緊迫感が漂っている」(関係者)という。

需要低迷の長期化で、予算を許さない局面となっているが、見積もり依頼の状況から「今がまさに`底`。今年後半からの回復に期待。値崩れなど深刻な状況に至っていないのが幸い。ただ、どこまで我慢できるのか。今後の動向を見極めたい」の声は少なくない。【関連記事14~20面】

これまで比較的堅調な伸びを示していた大型物件だが、定期的に`端境期`へ推移、精彩を欠く展開となっている。「全体的に稼働率は低調。企業規模の大小にかかわらず、同業他社間の製作協力、付帯金物や改修などで工場稼働をなんとかカバーしているのが実態」(同)の見方は多い。建設コストの高騰や人材不足、設備業者の手配難などで計画物件の工事中断や着工延期、計画見直しなどが相次いでおり、一方で大手ゼネコンの中には海外鉄骨の輸入、コスト削減を狙いとする設計変更などの動きが水面下でみられるようになってきている。



工場内のような

創鉄工業(富山) Rグレード認定を取得 工事の受注を強化へ

富山県のファブで工場や住宅の建築、増築など一般建築工事、鉄骨加工を手掛ける創鉄工業(高岡市、前田大輔社長)はこのほど、性能評価Rグレードの認定を取得した。中途採用で社員も1人増員しており、今後、工事受注を強化していく。

同社は主に工場の増築工事や鉄骨造の一般住宅の建築、カーポートの製作・施工、穀物貯蔵設備の建築などを請け負っている。今回のグレード認定取得は顧客の要望を受けて取り組んだもの。昨年から品質管理体制の強化や鉄骨加工技術の向上、資格者の育成を進め、認定の取得に至った。設備は大東精機の形鋼用バンドソー「STIII5080」、タケダ機械の孔あけ

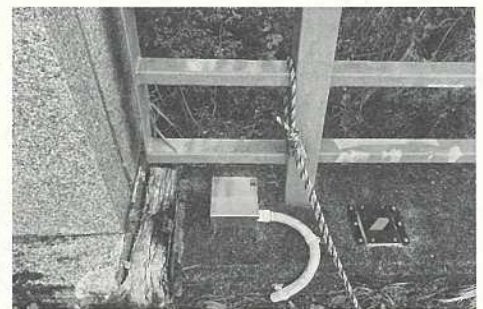
橋梁や土木構造物、各種プラントの非破壊検査を手掛ける富山県のアイベック(富山市、東出悦子社長)では橋梁の維持管理・保全

橋梁の遠隔モニタリング 保全ニーズへの対応強化

アイベック(富山)

ニーズへの対応として、IoT技術を活用した橋梁モニタリングシステムを提案、全国の道路橋9カ所で採用された。遠隔監視で劣化に伴う損傷などを事前に察知できるほか、必要な保全工事の時期や内容の判断にも役立つ。今後、自治体や橋梁保全事業を手掛ける橋梁メーカー、建設コンサルタンなどへ提案を強化していく。

橋梁モニタリングシステムは橋梁にセンサーを設置し、ひずみや振動を測定。構造物の損傷度合いが一定程度を超えると担当者のスマートフォンなどにアラートが送られる。大坪登喜夫・非破壊検査部長は「市町村が管理している道路橋などは維持管理の予算も限られている。点検作業を効率化し、かつ保全工事が必要な時期を判断するのに役立つモニタリングシステムの提案を、今後強化していきたい」としている。



橋梁モニタリングシステムを提案

KOBELCO

小型可搬型溶接ロボット 石松™

小型・軽量・省スペース
品質安定・品質向上

フルオート機能(全自動センシング)
鉄骨/橋梁/造船/下向/立向/横向他
各種建築鉄骨溶接ロボット型式認証取得

カタログはHPでご覧いただけます
<https://www.kobelco.co.jp/welding/kobelco-robotix/index.html>

コベルコ ROBOTiX 株式会社

本社・第一事業部
〒251-8551 神奈川県藤沢市宮前 100-1

第二事業部(石松のお問合せ先)
〒851-1133 長崎県長崎市小江町 2734 番 9
TEL: 095-846-1576 FAX: 095-846-1577



タッチパネル式コントローラ

- ・ID&パスワードで操作権限の管理
- ・HELPやLOG Dataの閲覧
- ・非常停止ボタン

動画は YouTube コベルコ 石松 で検索

スマホ

KOBELCO WELDING アプリ『石松オーナー's PAGE』開設!
石松™に関するトラブル対応や部品交換方法などを写真や動画を交えてご紹介しています。ぜひご活用ください。